



瓊浦高等学校
学校通信
第 15 号

平成25年11月29日発行
電話 095-826-1261
FAX 095-820-5245

瓊浦の窓

「己に克つ」

教頭 中上 敢

宇宙飛行士の若田光一さんは、11月7日、ロシアの宇宙船「ソユーズ」で国際宇宙ステーションに到着しました。今回が、宇宙滞在4回目になります。そして、来年3月には、日本人で初めて国際宇宙ステーションの船長という重責を担うことも決まっています。子供の頃、アポロ11号の月面着陸をテレビで見て以来、若田さんは、将来、宇宙飛行士になりたいという思いを持ち続けていました。そして、その夢を目標として努力を重ね、実現させたのです。

本校の生徒諸君も自分の夢に向かって精一杯努力をしていると思います。今まさに進路決定に取り組んでいる3年生、これから取り組む2年生そして1年生、生徒諸君には自分の夢を持ち続けて若田さんのように夢を実現して欲しいと願っています。

夢を実現するということは難しいことです。意志の弱さ、努力不足、環境が整わないなど様々な状況を克服しなければなりません。

最近の若者は辛抱することが苦手であるといわれています。困難な場面に遭遇した場合、「やりたいからやる」と意欲的に取り組む姿勢ではなく、「やりたいけどやらない」と簡単に諦めてしまう。自分の意志に反してやらなければならないことに直面した時、「やりたくないけれどやる」ではなくて「やりたくないからやらない」というように投げ出してしまふ。そのような安易な方向に流され、その結果、夢を諦めてしまうのです。このようなとき大切なのは、「己に克つ」という気持ちであると思います。すなわち、自分の気持ちをどのくらい抑えることができるかが重要です。

「人は己に克つことによって成功し、己を愛することによって失敗する」これは、明治維新の立役者 西郷隆盛の言葉です。「事を成すにあたり、よく己を慎み慎重に行えば成功するが、自分を愛する心が起こると、戒める気持ちが緩み、失敗してしまう」ということです。「己に克つ」、このことが夢の実現に繋がっていくと思います。

生徒諸君には、「己に克つ（克己）」という気持ちを強く持ち、高校生活を送って欲しいと考えています。

★ 就職指導部より ★

9月16日の就職試験開始から3ヶ月近くが経過し、各企業から可否の連絡が続々と届いています。今年も、適性検査にSPIを導入して基礎的な学力を可否の材料として重視する企業や、グループディスカッションで情報を取りまとめる能力や積極性をみる企業が現れました。また、2次面接を実施する企業も増えているようです。これらは企業側の生徒への期待の裏返しであり、内定獲得のためにはその期待を上回る熱意が必要になると思われます。

未内定者は、10月21日に開催された合同企業面談会に参加し、受験をして内定を獲得した生徒もいます。12月19日には、第2回の合同企業面談会が開催されますので、未内定者が参加する予定です。このようにハローワークと連携しながら、応募企業の開拓や内定獲得に向けての取組を進めています。

一方、内定者は自動車免許の取得などの新たな目標を設定し、気を引き締め直しています。残りの学校生活を有意義なものにしてもらいたいと思います。

球技大会のお知らせ

10月11日（予備日は25日）に予定されていた球技大会が両日も雨のため中止となっていましたが、生徒たちからの熱い要望もあって、12月18日に実施することとなりました。競技種目・場所につきましては、以下の通りです。今年最後の学校行事、クラスの仲間との和を一層深めてほしいと思います。

- 1年生 バasketボール（総体3F）
- 2年生 フットサル（学校グラウンド）
- 3年生 ソフトボール（田手原グラウンド）

進学指導部より

11月も下旬を迎え、進学希望の3年生にとっては、いよいよ受験シーズン真っ只中になりました。現在、大学・専門学校ともに、AO入試や推薦入試の受験がほぼ終えようとしているところです。早い学校はすでに可否の発表が行われていますが、これから受験する予定の生徒や発表待ちの生徒が多くいるのが現在の状況です。12月中旬頃までには、ある程度、進学先の決定状況がお知らせできるのではないかと考えています。

また、来年の1月18日・19日に予定されているセンター試験には、普通科3年A組の24名が受験することになっています。こちらに向けても、昨年度の先輩たちよりも良い成績を残したいと、クラス一丸となって頑張っているところです。

1、2年生につきましても、今後進路ガイダンスや大学見学会の実施が計画されていますので、後日連絡をいたしたいと思います。

《 主な行事 》
12月

2日(月)	期末考査(～3日)
5日(木)	人権教育
6日(金)	就職模擬試験②
10日(火)	工場見学(機②) インターンシップ(情②)(～13日)
13日(金)	パソコン検定(機)
18日(水)	球技大会
19日(木)	長崎県ものづくりテクノフェア (普②・情②)(～20日)
20日(金)	終業式
21日(土)	県下一斉実力試験①② 進学補習(～27日)
24日(火)	追試(～26日)

【瓊浦祭】

11月2日、平成25年度瓊浦祭が開催されました。今年度のテーマは「華～目覚めの瞬間～」です。1日には前夜祭があり、アカペラ、ダンス、歌自慢の予選などが行われました。2日には1年生は合唱、2年生は展示、3年生は模擬店など、それぞれの学年で、普段見ることのできない姿を見せてくれました。エイサー、和太鼓、ダンス、歌等が披露されたステージでも、各部門、それぞれ練習の成果を発揮いたしました。ステージと観客とが一体となり、会場全体が熱気に包まれ、まさに瓊浦高校が一丸となった瞬間でした。たくさんの場面で生徒たちが色とりどりの華を咲かせてくれたようです。



《1年 合唱コンクール部門》

金賞 機1C 銀賞 龍1A
普1D

《2年 展示部門》

金賞 普2B 銀賞 普2A
情2A

【機械科 課題研究】

機械科の課題研究「凧（ハタ）の研究」についてJAXAの原田先生（主任研究員）による出前授業が10月28日に行われました。今回は6月に続き2回目の授業であり、生徒が設計・製作した凧（ハタ）を実際に飛ばして、先生からのアドバイス等をいただきました。生徒たちは失敗をしながらも様々な凧（ハタ）を作り上げました。先生のアドバイスによりすべての凧（ハタ）が無事揚がり、生徒は数多くを学んだようでした。



【長崎県高総体 駅伝競走大会】

今年度の県高総体最後の実施種目となる駅伝競走大会が、11月6日（水）、南島原市の小浜で行われました。

本校陸上部は14年ぶりの優勝を目指し、各選手が力走を見せました。今年度に入って多くの選手が自己ベストを更新しており、今回の駅伝でも好成績が期待されていました。そんな中、4区を走った矢野君（機3B）が区間賞を獲得するなど、昨年よりも5分以上タイムを縮める大健闘を見せました。他校の頑張りもあり、結果は4位となりましたが、選手たちは3年

間の練習の成果を一生懸命に出し切ってくれたと思います。

先日行われた受納式で矢野君の言った「後輩たちが都大路（全国大会）へ行ってけると信じています」という台詞が印象的でした。今回駅伝に出場した7人のメンバーのうち、1、2年生は4人。先輩たちの思いを受け継ぎ、来年こそは県大会優勝、そして全国の舞台上で走る姿を見せてほしいと思います。

【部活動成績】

○ ハンドボール部

長崎県高等学校新人体育大会

優 勝

○ 卓球部

長崎県高等学校新人体育大会

男子団体 第2位
男子シングルス 第3位 橋口 憂二（機2B）
男子ダブルス 第3位 橋口 憂二
川淵 剛樹（機2C）

○ 空手道部

長崎県高等学校新人体育大会

男子総合 第3位
男子団体形 第3位
男子個人組手 第3位 山口 竜希（普2B）

○ 演劇部

長崎県高等学校総合文化祭

演劇部門県大会

「ゆれる車の音

～九州テキ屋旅日記」

最優秀賞

○ 将棋サークル

長崎県高等学校文化連盟

将棋新人大会

男子団体 優 勝

○ ボクシング

長崎県高等学校新人体育大会

団体 優 勝
個人

ミドル級 優勝 山崎 隆之助（機1D）
ライトウェルター級 優勝 加茂 誠二郎（情2A）
バンタム級 第2位 大川内 磨麟（普2D）

【生徒総会】

11月19日、本年度第2回の生徒総会が開かれました。今回の総会では事前に各クラスで話し合われた要望事項を中心とした話し合いがなされました。今年度は瓊浦祭やスクールバスについて議論が交わされました。かねてから要望として出されていたマフラー・ネックウォーマーについては、この冬から認められることとなりました。生徒総会は、生徒にとって自分たちで学校を変える大きな機会です。しかし、学校側に要望を出すからには、一人ひとりがルールを守るという責任を負わなければいけません。今後も生徒会を中心としてより活発な活動が行われることを期待しています。